

# マイクロリーダー レンズ倍率の選び方

$$\text{スクリーンの寸法} \div \text{フィルム画像の寸法} = \text{レンズの倍率}$$

(例) 35mmフィルムを、縦338mmの画面に投影したい

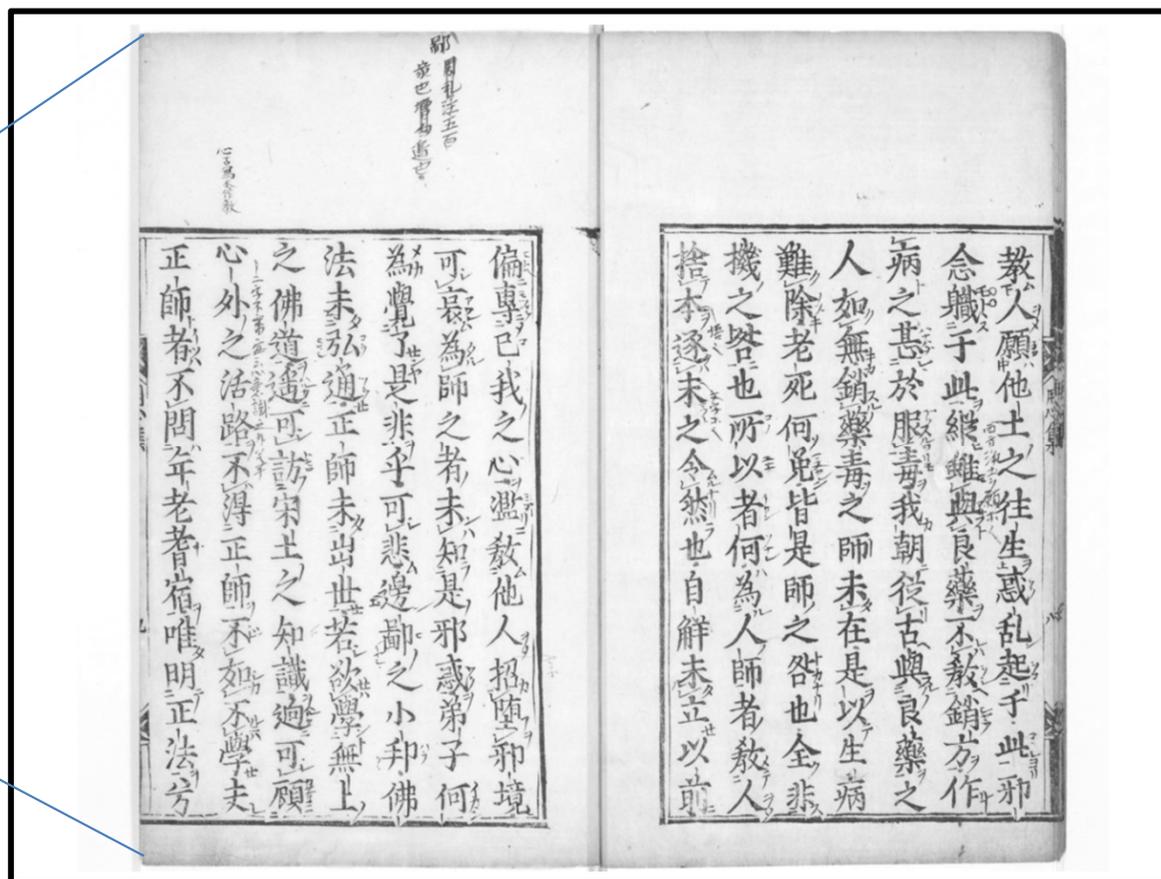
$$338\text{mm} \div 26 = 13 \Rightarrow \text{この値に近い倍率のレンズを選ぶ}$$

リーダーの画面

35mmフィルムの画像



約26mm



338mm

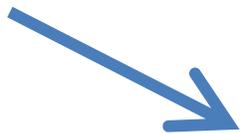
※ 35mmフィルムのフィルム幅は35mmですが、余白があるため、「写っている画像」の寸法で計算してください。

注意:この図の「縮尺」はイメージです。厳密ではありません。

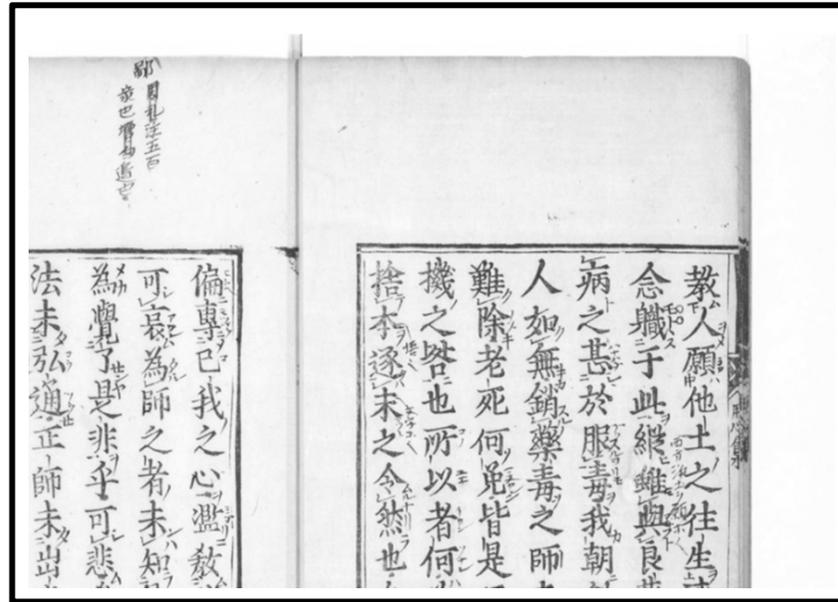
# (補足例)

24倍  
(倍率を上げた場合)

35mmフィルムの画像



9倍  
(倍率を下げた場合)



利点:  
文字が拡大され、読みやすい  
欠点:  
全体が映りきれないので  
フィルムを動かして見る



利点:  
資料の形態を俯瞰できる  
欠点:  
小さく映るので読みにくい